

北部ケニア干ばつレジリエンス通信 (2012年10月号)

今月のトピック: ① 北部開発省にて第2回Joint Steering Committee会議が開かれました。② Water PanやPipe line等の土木施設に関する現地調査が本格的に開始され、測量/現地踏査などが頻繁に実施されています。



自然資源管理現地調査(マルビ ット郡中央郡Gar-Qarsa)
現地牧畜民の移動ルート・彼らの意見や、気象状況、降雨状況、牧草地の繁茂状況などを聞き取りながら、適切なWater Pan建設予定地の候補を絞り込んでいます。



測量作業: Water Pan予定地 建設予定地において測量作業を行いました。 GPSを利用しながら位置を確認し、標高データを測量によって取得します。(左上: マルビ ット郡中央郡Gar-Qarsaのwater pan予定地 / 右下: 南郡ArapalのPipeline予定地)



Pipeline給水水源施設の調査 (マルビ ット南郡Arapal)
新設Pipelineの水源は、Arapal村から約7km上流に位置。その水源を訪れ、データを取得及び、湧水量の調査を行いました。



Joint Steering Committee会議
Progress Report(1)に係る協議を、ナイロビ北部開発省内において行いました(10月30日)。



Rock Catchment建設予定地(マルビ ット南郡Ngurunit)
Rock Catchmentは、岩斜面に降った雨を集水して貯留する構造物。通常その容量は10-100m³程度ですが、それは100家族程度の小集落の飲料水3日~2週間分ではかありません。



Rock Catchment建設予定地(マルビ ット南郡Ngurunit)
Rock Catchment予定地でテストピットを掘削し、基礎地盤の深さやRock Catchment集水域の面積測定等を行いました。